

【中国】 中国海外留学生青書 2025 版にみる中国人海外留学の動向

2025 年 4 月 11 日、中国政府教育部が所管する留学生サービスセンターが主催する 2025 年中国留学フォーラム（CSAF）が北京で開催され「中国海外留学生青書 2025 版」の発表会も合わせて行われた。米中関係の緊張が高まる中、中国人留学生の渡航先にどのような変化が表れているか、また留学後の就業先の進路に関する傾向など最近の中国人の海外留学事情について同青書から紹介する。

教育部の統計によると中国から海外への留学生の数は世界的なパンデミックの影響を受けた 2020 年の 45 万 900 人から 2022 年には 66 万 1,200 人に回復し、2023 年にはコロナ前の年間 70 万人の水準へと急速に回復した。2021 年時点の留学先は米国が最も多く、次いで英国、オーストラリア、ドイツ、カナダ、フランス、日本の順であった。米国の留学生の 4 人に 1 人が中国出身者という状況であった。

中国海外留学生青書 2025 版は 28 カ国を対象に中国人留学生の渡航先としての環境評価について就業環境、安全とコスト、受入れ開放性の 3 つの項目でランキングを行い、それらを総合して総合ランキングを評価した。それによると米中間の覇権争いの影響を受けて米国の総合評価ランキングは 4 位に急落した。米国政府の決定により 2025 年 4 月末の時点ですでに米国留学中の多くの中国人学生のビザが取り消し措置を受けるなど地政学的な要因が反映されたと考えられる。トランプ政権はこれまでに全米の 130 以上の大学で 1,000 人以上の留学生と卒業生のビザを取り消した。同政権による移民取り締まりの一環とされるが、具体的な理由は説明されていないと同青書は言及している。中国政府は米国留学を検討している学生などに対してリスクについて慎重に検討し警戒するよう教育部を通して呼びかけている。

中国人の希望留学先環境ランキング評価

総合ランキング		就業環境		安全性とコスト		受入れ開放性	
1	英国	1	米国	1	シンガポール	1	ベラルーシ
2	シンガポール	2	ドイツ	2	デンマーク	2	韓国
3	カナダ	3	英国	3	ニュージーランド	3	マレーシア
4	米国	4	スイス	4	ベルギー	4	ロシア
5	ドイツ	5	カナダ	5	ベラルーシ	5	シンガポール
6	スイス	6	オランダ	6	オランダ	6	日本
7	オーストラリア	7	オーストラリア	7	アイルランド	7	ニュージーランド
8	デンマーク	8	フランス	8	日本	8	タイ
9	オランダ	9	スイス	9	フィンランド	9	米国
10	日本	10	デンマーク	10	カナダ	10	デンマーク

出所：中留服发布 2025 出国留学蓝皮书

<https://study.intergreat.com/zh-hans/article/1379.html>

中国海外留学生青書 2025 版で米国に替わって総合評価で 1 位となったのは英国で、2 位のシンガポール、3 位のカナダが米国より高い評価となった。英国は従来から中国人にとって米国と並んで人気の高い留学先でオックスフォード、ケンブリッジなど主要 5 大学 (The G5) が多くの中国人留学生の人気を集めている。同国の大学を卒業した後に国内での就労を可能とする PSW (Post-Study Work) ビザが中国人にも開放されていることも就労環境面で高く評価されている。シンガポールは南洋理工大学とシンガポール国立大学を「アジアの教育ハブ」として位置づけ人工知能やバイオサイエンスなどの分野に多くの投資を行っている。アジアにありながら英語が主流の国際環境、犯罪率の低さ、中国との時差がないことから安全性とコストの評価で 1 位となっている。なお、日本は安全性とコストで 8 位、中国人留学生の受け入れ開放性で 6 位と評価され総合順位で 10 位に踏みとどまった。

同時に青書によると中国人学生の留学先がますます多様化しており、「一带一路」構想の沿線の国々の魅力が高まっている。ロシア、ベラルーシなど同構想を背景として経済や人の交流を促進する政策が中国からの留学希望者の増加に現れている。2025 年中国留学フォーラムの席上でイラン・テヘラン大学のハオマイト教授は、留学生ビザの緩和政策と「一带一路」構想の共同建設によりイランで学ぶことを選択する学生が増えていると述べた。

さらに青書は、中国人学生が海外で専攻を選択する際に人工知能など国内の振興分野の労働市場のニーズとの一致を重視する傾向が強まっていると指摘した。海外留学からの帰国者の約 6 割が人工知能、新エネルギー自動車、医療、ヘルスケアなどの戦略的新興産業に新

たに従事している。北京のユニコーン企業の創業者の 32.2%が海外留学の経験があり、フィンテックやデータサイエンスなどの新興分野で海外の最新の知識を吸収した帰国人材への需要が高まっている。このような海外留学経験者の就業機会の増大を背景に短期留学プログラムの人気も高まりつつあり、中国の都市部の若い社会人の中で短期の海外留学への関心も高まっている。

(高木 正勝)

【中国】【水力発電】揚水発電所の設備容量、世界一に

中国の統計データによると、2024 年末時点で、中国の揚水発電所の累計稼働容量は 5,869 万キロワットに達し、全国で認可・建設中の設備総容量は約 2 億キロワットに上る。2025 年には、揚水発電の新たな稼働容量が約 800 万キロワット増加すると見込まれており、第 14 次五カ年計画（2021－2025 年）末までに、総設備容量は約 6,600 万キロワットに達する見通しである。

専門家によれば、現在、中国の揚水発電所の設備容量は世界一であり、その建設・運営管理能力、設計・施工、設備製造の各分野においても、世界の最先端レベルにある。また、地域的な分布は東部の先進地域から西部地域へと広がり、サービス対象も従来の送電網から再生可能エネルギー基地や特定地域立地電源地点へと拡大しており、活用シーンは多様化の傾向を示している。

揚水発電所は、計画から稼働までに 5～8 年を要し、1～2 年で建設可能な再生可能エネルギー発電所に比べて、はるかに長い建設期間が必要である。中国国家エネルギー計画によれば、2035 年までに中国の揚水発電所の必要容量は 4 億キロワットに達するとされている。

将来の中国における電力システムの負荷や電源構成、特に再生可能エネルギーの発展規模を踏まえ、専門家は、「着工・認可・準備の三段階によるローリング開発体制」を確立し、蓄電・調整能力と再生可能エネルギーの発展が「同じテンポで共振する」ことを確保する必要があると述べている。

参考：<https://www.china5e.com/news/news-1188382-1.html>

【中国】【エネルギー】風力・太陽光発電の総設備容量、火力発電超え

国家能源局は 2025 年 4 月 28 日の定例記者会見で、2025 年第 1 四半期の系統連系済みの再生可能エネルギー発電設備が 19 億 6,600 万キロワットに達し、風力発電と太陽光発電の合計で火力発電の設置容量を上回ったことが報告された。

同局新エネ・再エネ司の潘慧敏副司長によると、2025 年 3 月末時点で中国の再生可能エネルギーの設備容量は 19 億 6,600 万キロワットに達し、前年比 24%増加して国内の発電総設備容量の約 57.3%を占めた。このうち、水力発電の設置容量は 4 億 3,800 万キロワット、風力発電の設置容量は 5 億 3,500 万キロワット、太陽光発電の設置容量は 9 億 4,600 万キ

ロワットとなっている。またバイオマス発電の設置容量は4,600万キロワットであった。

再生エネルギーのうち風力発電と太陽光発電の設備容量は合計で14億8,200万キロワットに達し、火力発電の設備容量14億5,000万キロワットを上回った。2025年第1四半期の再生可能エネルギーの新規設備については7,675万キロワット(前年同期比21%増)で、全電源の新規設置容量の90%に達している。このため水力を除いて風力と太陽光で火力発電を上回る新常态が定着していく見通しであると述べた。

新华网新闻：国家能源局 风电光伏发电装机历史性超过火电装机

<http://www.news.cn/energy/20250428/0bef828b987e4a77b634be8ead039ee6/c.html>

【中国】【知財】「中国知的財産権侵害・模倣品摘発活動年度報告書（2024）」公表

国家市場監督管理総局傘下の国家品質強国建設協調推進指導小組は2025年4月25日、「中国知的財産権侵害・模倣品摘発活動年度報告書(2024)」を公表した。国際・国内経済情勢について、2024年は世界の経済成長が全体的に減速し、経済分野の開放指数は引き続き低下し、外部環境の変化による中国経済への悪影響は深刻化しているとの基本認識を示した。そのうえで中国経済には依然として安定した基盤と強靱な回復力と潜在力があり、長期的にはプラスになることが期待され、中国政府は知的財産権の保護と模倣品の摘発の取り組みを引き続き強化していく方針が報告された。

2024年に国内でインターネット上の権利侵害などの摘発活動が強化された。国家市場監督管理総局はインターネット市場監督管理促進発展特別行動を主導し、オンラインの包括的な監督とネット上の新たな問題・リスク解決に努めた。具体的にはオンライン取引プラットフォーム上の違法商品情報28万7,000件を削除、1万7,000件のウェブサイト是正命令、2,619件のウェブサイト閉鎖要請を実施した。一方、各種ネット不正競争案件4,686件を摘発し、うち381件を公安機関に移送した。

また市場監督管理部門は、2024年に粗悪模倣品の全国統一廃棄活動を実施した。アパレル製品や食品・医薬品、化粧品、たばこ、酒類、海賊版出版物など200種類以上の模倣品が全国の主要都市で一斉摘発され、3億3,000万元(約66億円)の違法模倣商品が廃棄処分された。中国政府は知的財産権の保護と模倣品の撲滅に向けた取り組みを引き続き強化し、中国製品のブランド力向上を目指す方針である。

出所：中国打击侵权假冒工作年度报告（2024）

<https://www.sinobiopharm.com/userfiles/files/%E8%A1%8C%E6%94%BF%E6%9C%BA%E5%85%B3%E7%9B%91%E7%AE%A1%E5%8A%A8%E6%80%81202504/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E6%89%93%E5%87%BB%E4%BE%B5%E6%9D%83%E5%81%87%E5%86%92%E5%B7%A5%E4%BD%9C%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8A%A5%E5%91%8A%EF%BC%882024%EF%BC%89-%E4%B8%AD%E8%8B%B1%E6%96%87%E7%89%88.pdf>

【ベトナム】【農産品輸出】ベトナム産マンゴーが中国市場を席卷

ベトナム産マンゴーは中国市場で目覚ましい躍進を遂げ、タイ、ペルー、オーストラリアなどの主要輸出国を抜き、2025年第1四半期には中国のマンゴー輸入市場シェアの97%を獲得した。5月24日付ハノイ発 Viet Nam News が伝えた。

中国税関のデータによると、中国は2025年第1～3四半期に6カ国からマンゴーの輸入に2,900万米ドルを費やした。タイやペルーのような伝統的な供給国からの輸入額が激減する中、ベトナムだけが躍進を遂げた。40,700トン近いマンゴーが輸出され、前年比145倍の2,800万ドルの収益を上げた。ベトナム産マンゴーの平均輸出価格も72.6%上昇し、中国での消費者の強い支持を反映した。

ベトナムの優位性を高めている主な要因は、競争力のある価格設定である。平均して、ベトナム産マンゴーの輸出価格は1トン当たり約700ドルで、カンボジア産の価格とほぼ同じだが、タイ、ペルー、オーストラリアなどの国の1トン当たり6,000～11,000ドルよりも大幅に安い。加えて、ベトナムは地理的に中国に近いので、物流コストが低く、配送が迅速で、到着後の果実の品質保持に優れている。

特筆すべきは、ベトナムが9月から3月までのオフシーズンのマンゴー収穫を活用していることである。この季節的な優位性により、ベトナム産マンゴーは需要がピークを迎える時期に市場に参入することができ、価格が上昇し、地元農家に大きな利益をもたらしている。オフシーズンの最盛期には、ベトナムの高級マンゴーは1kgあたり10万ベトナムドン（約1,000万円）の値がついた。

コストの優位性に加え、ベトナムのマンゴーは安定した品質、豊かな風味、マイルドな甘さ、自然な香りで中国の消費者に好評である。cát Hòa Lộc（カットホアロック）や cát Chu（カッチュー）のような品種は、生食用だけでなく工業加工用としても非常に人気がある。

現在、メコンデルタの約2,000ヘクタールのマンゴー果樹園が VietGAP（Vietnam Good

Agricultural Practice、農業農村開発省が定めた農業生産管理基準）と GlobalGAP（世界基準の農業認証）規格の認証を受けており、中国、韓国、日本、米国などの高級市場に参入するための重要な条件である食品安全性とトレーサビリティの要件を満たしている。

しかし、こうしたチャンスに課題がないわけではない。5月以降、中国国内でのマンゴアの収穫が始まると、輸入需要が激減し、国内マンゴアの価格が下落する。価格がキログラム当たりわずか数千ドンにまで急落し、農家と輸出業者の双方に大きな損失をもたらしたこともある。これは、単一の市場に過度に依存することのリスクを浮き彫りにしている。

成長を維持し、長期的な発展を確保するためには、マンゴー関連部門は輸出先を多様化し、将来性の高い市場に進出し、ハイレベルの加工技術と収穫後の保存・管理技術に投資し続けなければならない。ベトナムの農産物の国際競争力を高めるためには、前述の VietGAP、GlobalGAP、またその他国際認証の対象地域の拡大も不可欠である。

出所： *Vietnamese mangoes dominate Chinese market*. Viet Nam News. 2025, May 24.

<https://vietnamnews.vn/economy/1718265/vietnamese-mangoes-dominate-chinese-market.html>

【タイ】【農産品輸出】 コメ輸出拡大を期待—タイ・ライス・コンベンション

5月26日、バンコクで開催された第10回タイ・ライス・コンベンション（TRC）2025において、Pichai Nariptaphan 商務相は、政府はタイの米産業の強化に尽力していると述べた。Bangkok Post が伝えた。

商務省は農業協同組合省と協力し、米の生産が需要を満たし、新たな市場機会を育成するよう取り組んでいく。

ジャスミンライス、有機米、低炭素米、地理的表示（GI）米、特産米など、多様で高品質な米品種を、ハラル食品とともに、EU、日本、中東など購買力の高い市場をターゲットに普及させることに重点を置く。

この取り組みは、食糧安全保障の課題に取り組むことを目的とした「タイ：世界の台所」政策に沿ったものである。

Pichai 商務相は「TRC2025 はタイ米の輸出業者と輸入業者の貿易交渉のためのプラットフォームである」と強調した。

世界の主要な米輸入業者との話し合いの結果、受注量は10万トンを超え、20億バーツ以上の収益が見込まれるという。

また Pichai 商務相は、2025 年の米輸出目標について 750 万トンを維持すると述べた。

タイ米輸出協会の Charoen Laothamatas 会長は、アメリカの相互関税はタイの米輸出にとって大きな問題ではないと述べたが、一方でインドがコメ市場に再参入することに懸念を示した。

世界のコメ生産量は改善傾向にあり、特にインドの精米量は過去 50 年間で最大の 1 億 4,000 万トン記録したが、インドネシアなどの主要な買い手は供給過剰と需要減退のため、今年は輸入しない可能性がある。

このような課題にもかかわらず、Charoen 会長はタイが今年 750 万トンの米輸出目標を達成できると楽観視している。しかし、インドの米輸出政策とバーツ高を注意深く監視する必要があると述べた。

タイの今年 1~4 月の米輸出量は 240 万トンで、2024 年同期比 30%減、輸出額は前年同期比 34%減の 5 億米ドルとなった。

この間、白米の輸出は前年同期比 51%減の 98 万 6,000 トン、碎米の輸出は 40%減の 12 万 7,000 トン、もち米の輸出は 15%減の 8 万 8,000 トン、ジャスミンライスの輸出は 3%増の 59 万トンであった。ジャスミンライスの碎米の輸出は 4%増の 18 万 2,000 トン、バーボイルドライス（粳穀を取る前に、水に浸して加熱した米）の輸出は 14%増の 36 万 5,000 トンであった。

出所： *Export hopes high at Thai rice convention*. Bangkok Post. 2025, May 27.

<https://www.bangkokpost.com/business/general/3035080/export-hopes-high-at-thai-rice-convention>